

Mizuho Daily Market Report

2025/1/7

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	157.67	157.62	+0.36	+0.78
EUR	1.0326	1.0390	+0.0082	▲0.0017
AUD	0.6231	0.6246	+0.0030	+0.0025
SGD	1.3690	1.3634	▲0.0068	+0.0034
CNY	7.3293	7.3281	+0.0066	+0.0288
MYR	4.5174	4.5107	+0.0105	+0.0442
THB	34.64	34.62	+0.16	+0.53
IDR	16199	16195	+5	+60
PHP	58.28	58.29	+0.09	+0.44
INR	85.83	85.83	+0.04	+0.29
VND	25392	25388	▲40	▲95

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.630%	+3.2 bp	+9.7 bp
日本(10年)	1.136%	+3.5 bp	+3.5 bp
ユーロ圏(10年)	2.447%	+2.2 bp	+8.0 bp
オーストラリア(5年)	4.081%	+13.5 bp	+7.1 bp
シンガポール(5年)	2.803%	+9.0 bp	▲0.3 bp
中国(5年)	1.332%	▲2.1 bp	▲8.8 bp
マレーシア(5年)	3.616%	+0.5 bp	▲2.4 bp
タイ(5年)	2.103%	+4.1 bp	+2.8 bp
インドネシア(5年)	6.994%	+1.1 bp	▲4.0 bp
フィリピン(5年)	5.952%	▲3.4 bp	▲8.3 bp
インド(5年)	6.695%	▲2.6 bp	▲4.3 bp
ベトナム(5年)	2.440%	+0.0 bp	+0.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	42,706.56	▲0.1%	+0.3%
N225(日本)	39,307.05	▲1.5%	▲1.5%
STOXX50(ユーロ圏)	4,986.64	+2.4%	+2.4%
ASX(オーストラリア)	4,503.56	+0.3%	+1.5%
FTSTI(シンガポール)	3,821.84	+0.5%	+0.7%
SSEC(中国)	3,206.92	▲0.1%	▲5.9%
SENSEX(インド)	77,964.99	▲1.6%	▲0.4%
JKSE(インドネシア)	7,080.47	▲1.2%	+0.0%
KLSE(マレーシア)	1,625.47	▲0.2%	▲0.7%
PSE(フィリピン)	6,625.17	+0.3%	+1.5%
SETI(タイ)	1,372.65	▲0.9%	▲2.0%
VNINDEX(ベトナム)	1,246.35	▲0.7%	▲2.0%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
ORB	298.93	+0.7%	+0.7%
金	2,636.47	▲0.1%	+1.1%
原油(WTI)	73.56	▲0.5%	+3.6%
銅	8,887.10	+1.4%	+1.0%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	156.60	—	158.80
EUR/USD	1.0220	—	1.0400
AUD/USD	0.6185	—	0.6380
USD/SGD	1.3680	—	1.3750
USD/CNY	7.3060	—	7.3390
USD/INR	4.4100	—	4.5230
USD/THB	33.40	—	35.15
USD/IDR	15950	—	16300
USD/PHP	57.75	—	59.20
USD/VND	24,100	—	25,500

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (8)	>	Bear (0)
USD/SGD	Bull (7)	>	Bear (1)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は157円台半ばでスタート。朝方は本邦系から買いが入り、157円台後半まで上伸するも、仲値にかけてはむしろ売られる展開。その後は特段の材料なくレンジ内での値動きに終始。結局157円台後半でクローズした。アジア通貨はドル指数が約2年ぶりの高値近辺で推移している中で、対ドルで下落する展開に。フィリピンは0.4%下落し、約2週間ぶりの安値をつけた。

欧州時間のドル円は156円台後半でスタート。植田日銀総裁がイベントにて、1月の利上げを示唆する発言が特段見当たらなかったことから、157円台後半まで円が売られる。しかし、その後「トランプ次期大統領の関税政策の範囲が限定的になる可能性がある」との一部報道を受けたドル売りが強まり、一転軟調な推移となり、156円台後半でNYオープン。オープン直後は156円台前半まで続落する場面もあったが、その後トランプ次期大統領が先述の関税案を巡る報道を否定した事を受け、買い戻しが優勢となり、157円台後半まで反発する神経質な値動き。午後は上昇していた米株が下げに転じた事がドル円の上値を抑え、結局157円台後半でクローズ。

【金利】

昨日の米金利は上昇。トランプ氏による関税政策が限定的となる可能性があるとの報道を受け一時金利低下する場面もみられたが、報道が否定されると反転上昇。米10年債利回りは昨年5月以来の高水準をつけた。

【予想】

本日のドル円は堅調な値動きとなることを予想。トランプ政権発足が目前に迫り、インフレ再燃懸念が意識されやす状況下、米金利は高水準を維持している。一方で、日銀利上げに対する材料は足元特段見当たらない中でドルが底堅い展開が継続すると想定。

【本日の予定】

(日本) 12月 マネジャーヘース
(日本) 国債入札(10Y)
(アジア) 11月 豪 住宅建設許可件数 / 民間部門住宅
(アジア) 12月 シンガポール 外貨準備高
(アジア) 12月 タイ 消費者信頼感
(アジア) 12月 フィリピン 外貨準備高
(アジア) 12月 中国 外貨準備高
(アジア) インド 年間GDP予想
(欧州) 11月 ユーロ圏 ECB CPI予想(1Y, 3Y)
(欧州) 11月 ユーロ圏 失業率
(欧州) 11月 伊 失業率
(欧州) 12月 ユーロ圏 CPI(速)
(欧州) 12月 仏 CPI(速)
(欧州) 12月 伊 CPI(速)
(欧州) 12月 英 BRC既存店売上高
(欧州) 12月 英 建設業PMI
(欧州) 独 国債入札(2Y)
(米国) 11月 JOLT求人
(米国) 11月 貿易収支
(米国) 12月 ISM非製造業景況指数
(米国) ハーキン・リッチモンド 連銀総裁講演
(米国) 国債入札(3Y)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。